

Public relations magazine SAISEI Oh! MIYA

わたしたち常陸大宮済生会病院と
皆さんをつなぐ広報誌

さいせい
済生

Hitachiomiya Saiseikai Hospital

お！おみや



特集

気持ちも新たに新年度スタート

- 新任医師・新入職員スタッフ紹介
- 入職1年が過ぎて～平成31年度入職者座談会～
- 東京医科歯科大学が県・市と協定書を締結
- Oh!miya topics ほか

2020

第18号

春号



社会福祉法人 済生会支部 茨城県済生会
常陸大宮済生会病院

新しい仲間を紹介します!



令和2年入職者に「ちょっと」聞いてみました。

……………質問内容 ①趣味・特技 ②好きな食べ物 ③ひとことコメント ……………



外科・消化器科 部長

菱川 修司

- ①バドミントン
- ②何でも食べます。
- ③3月まで自治医科大学で消化器外科や救急外傷分野に従事し、手術手技指導にも携わって来ました。これからどうぞ宜しくお願い致します。



小児科 部長

岸 崇之

- ①スポーツ・旅行
- ②納豆
- ③地域のお子様・ご家族が安心できるような診療を心がけております。よろしくお願いたします。



外科・消化器科 医員

津久井 秀則

- ①バドミントン
- ②アイス
- ③4月から常陸大宮済生会病院・外科に配属となりました。精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。



内科 医員

井上 和之

- ①焼きもの
- ②パスタ
- ③常陸大宮の皆さんの力になるために頑張ります。よろしくお願致します。



内科 医員

藤倉 佐和子

- ①映画鑑賞・音楽鑑賞
- ②焼き鳥
- ③未熟な点は多々ありますが、少しでも地域の皆様に貢献できるよう精進してまいります。よろしくお願いたします。



小児科 医員

弘野 浩司

- ①ヨガ
- ②ラーメン
- ③青森県から来ました。茨城県に馴染み、少しでも貢献できるよう頑張ります。



救急科 医員

小野 貴広

- ①卓球・ドライブ
- ②玉ねぎ料理
- ③3ヶ月と短い期間ではありますが、地域の救急医療に貢献できるように頑張ります。





看護部 2階病棟

石井 ひと絵

- ①飲み歩き・ホットヨガ
- ②ビール
- ③3年ぶりの済生会で、いろいろ不安や戸惑いも多いのですが、自分の経験を活かして、利用して下さる皆様に貢献できるよう努力していきます。



看護部 2階病棟

大内 宏美

- ①特技：エレクtoon
趣味：ドライブ
- ②ピーナッツ
- ③患者様、ご家族様に寄り添い、安心して頂ける看護の提供に貢献してまいります。よろしくお願ひ致します。



看護部 3階病棟

二方 綾菜

- ①書道・音楽鑑賞
- ②ロールキャベツ・カレー
- ③患者様、家族一人ひとりに寄り添い、信頼される看護師になれるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



看護部 4階病棟

高信 暖子

- ①旅行
- ②うどん・焼き鳥
- ③患者様、ご家族に「この看護師がいれば安心だ」と思って頂ける様な看護師になれる様、日々学び、感謝を忘れず努めてまいります。



看護部 4階病棟

桃井 美空

- ①特技：ダンス
趣味：映画やドラマをみること
- ②甘い物
- ③緊張や不安も多いですが、自分の目標や課題を忘れずに患者さんやご家族のお役に少しでも立てるように努力したいと思います。



臨床検査科

野荒 基

- ①猫と遊ぶこと
- ②ラーメン・寿司
- ③信頼できる検査結果を迅速に臨床側に提供し、地域の皆様の医療に貢献したいと思います。よろしくお願ひします。



臨床検査科

飯嶋 和泉

- ①書道・水泳・スポーツ観戦
- ②ラーメン
- ③最初は至らない点もあると思いますが、皆様に信頼していただけるような検査技師になれるように精一杯頑張ります。



リハビリテーション科

渡辺 将登

- ①サッカー
- ②肉・チョコ
- ③1日でも早く仕事を覚え、患者様・地域に貢献できる理学療法士を目指して頑張ります。



事務部 企画課

小池 直人

- ①趣味：ロードバイク・ゴルフ・ゲーム
- ②ラーメン・グミ・魚介類
- ③病院勤務は初めてですが、いち早く業務を習熟し、地域の皆様のお役に立てる様、頑張ります。



事務部 総務課

笠井 康宏

- ①バドミントン
- ②ラーメン
- ③生まれ育った県北西部の地域医療を支える一員となれるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

富山 患者さんの食べ物の好き嫌いなく、たくさんの要望に応えているのが凄く思いました。

川和 書類の整理は、病院によって書式なども違うので、教えてもらいながらやってきました。覚えることがたくさんあったのですが、楽しいです。

——仕事をしてみても喜びや、嬉しかったところを教えてください。

富山 最初は食べられなかった患者さんが、徐々に食べられるようになったりして、おいしいと言って食べてくれるのがやっぱり一番嬉しいです。

川和 毎日の業務ではないのですが、同意書などを作る機会がありまして、私が作ったその様式を先生が知ってくれて、新しいシステムで使ってくれたという事がありました。

後藤 いっぱいあって選べないんですけど、リハビリの人はみんなが感じていると思うんです。最初は歩けなかった人が、リハビリを始めてだんだん杖で歩けるようになって、最終的には自分の力で歩けるようになってきました。



——ようになつたりすると、とっても嬉しいです。さらに患者さんが嬉しがっている姿を見ても嬉しいです。あと、患者さんに名前を覚えてもらえたことか、最後の日に泣いてくれたりしたことです。

桑久保 1人の患者さんと接する時間はあまりないですが、レントゲンを撮るときのお着替えをしているときとかで、世間話などをするようになり、何回か来ている人などは、肩が治ってきたねとか話しかけると、「ありがとね」等と言われることがあり、すごく嬉しくなりますね。

大庭 皆さんと一緒になんですけど、患者さんにありがとと言われたときは、自分がやってきた看護が正解だったなと思つて、よかつたなと思えます。あと、ご家族さんともかかわることもあるので、ご家族さんもおっしゃることがあって毎回面会に来られている方もいるので、その日の出来事を伝えると「ありがとございます」と感謝されるご家族さんもいます。自分のがんばる力につながるような気がします。それと、元気に退院していく患者さんはこちらなんです。亡くなられる患者さんもおられるので、ご家族さんが悔いのないように帰ること

ができるよ、「ありがとございました」と泣きながらお礼してくれる方もいて、最後まで援助ができたんだなと思えた時、嬉しいですね。

——やっぱり誰かにお礼を言ってもらえると、嬉しいですね。働く力にもなりますよね。

——今後の目標などはありますか。

後藤 まだ先ですけど、理学療法士にも認定がありまして、それを取るか迷ってます。そのほかのリハビリに関する資格も取るうか悩んで相談しています。

川和 医療経営士を取りたいです。でも難しいのでどこまで自分で勉強できるのか分からないです。2年に一度は改定があるので、勉強が必要になってしまっています。

大庭 具体的というかは、まだ自分の周りの狭い視野しか見れていなくて、まわりの先輩を見てみると、すごい視野で今後どうなっていくのかなど考えながら動いているのを見てみると、もうちょっと

周りが見えるようになりたいし、今後、先輩も入ってくるので患者さんだけでなく、全部を見ながら動けるようになりたいと思います。

桑久保 目標は、この一年は先輩にたくさんのお話を聞いてもらって、一人前になるために、それをひたすら覚えて教わったことだけをやっていく感覚なんです。これから自分がついて先輩になるかわからないので、その時に少しでも自分に自信が持てるように、自分でももっと考えることができるようになりたいと思います。

富山 指導は同じような疾患であれば、一通りはできるようになってきたのですが、まだ分からないことや、この人はこれいいのか等と聞きながらやっていきます。これからは、自分で判断できるように、指導も回数を重ねていけばいくほど、成長できるのかなと思います。

——皆さんの仕事にはほんとに終わりがありませんし、新しいことがどんどん始まっていくし、そういう意味ではずっと勉強の職種なんです。ただ、今日、皆さんのお話を聞いてみると、ほんとに最初のことと比べると、地域医療の担い手としてしっかりしてきたな、成長しているなと思いました。

自分が成長することは、すごく大切なことです。これから一年一年頑張ってもらって、楽しんで仕事をしつつ「ちょっとずつ」でいいので大きくなってほしいと思います。



昨年度入職者の中から5名に集まっていただき入職後の一年についてお話を伺いました。

平成31年度入職者座談会

入職1年 が過ぎて

進行
高橋薬剂科
副科長

放射線科
乗久保大樹

医事課
川和 莉菜

看護部
大庭 風夏

リハビリテーション科
後藤 記里

栄養科
富山理紗子



— 皆さんは入職して1年が経ちますが、病院というところで働いてみてどうでしたか？

大庭 実習とは違って、社会人となって看護師として資格を持つてからは、できることが広がる分、必ず責任がついてくることにプレッシャーを感じています。実習では、点滴ができるのをいいながら、一つひとつのことにあこがれを持っていましたけれど、いざ自分でやってみるとうまくできなかったり、患者さんによっては思うように対応ができないこともあるので、悩むことも多かったですね。でもその分考えられることが増えたのかなと思います。

乗久保 1年はあつという間でした。学生の頃は、先に働いている友人の話を聞く、本当に社会人になれるのかなと思っていました。いざなってみると職場や先輩に恵まれて、あつという間に過ぎました。放射線を扱うので、責任感を感じたなればと感じています。

後藤 私もあつという間だなと感じています。実際に実習で同じようなことはやってきたんですけど、実習とはくらべものにならないほど長く、寝たきりの患者さんや手術直後の患者さんは、動けないから積極的に動かさないと関節とかも固まってしまうため、しっかりとやらないとなりません。患者さんの人生を自分が左右するのと思うと、責任感が重要と感じました。患者さんや家族から「動けるようになりませんか」とか聞かれますが、

完全に動きまわすとも言い切れないところがあるんです。

川和 あつという間の1年でした。私は、患者さんと直接ふれ合うことはない部署だと思います。学校で資格を取って入ったのですが、勉強したことは少し違う細かいイレギュラーなことが起こるとわからないことが多かったんです。その都度聞きながら対応をし、教科書通りにはいかなないと感じました。

富山 やっぱ1年は本当にあつという間だったなという感じです。何も分からないまま入ってきて、最初は不安もあつたんですが、栄養科で優しい先輩もいて、同期で入った仲間もいて、恵まれている環境だなと思いました。分らないことはいつでも聞けるし、それはよかったなと思います。同じ疾患でも人によって指導の仕方や、生活背景にあった指導とか、個人に合わせた指導というのが大変ですね。

— 皆さん確かに一生懸命仕事をしていて、1年なんてあつという間だったでしょうね。



— 次に、学生実習の時とは変わった、違うなと思ったことなどありますか？

乗久保 基本的なレントゲンの撮り方などは同じだったので、勉強して役に立ったと思います。しかし、CTやMRIは、病気によって造影剤の量やスピードに違いがあつて、学校でそこまでは教えてくれませんでした。実際に先輩に教わりながら覚えていきました。

大庭 私は、この病院で実習をして、病棟の看護師さんにあこがれてここに来たいと思いました。あこがれが強い分、その看護師さんのようになりたいと頑張れている部分もあります。先輩の看護の仕方を見ると、やっぱり凄いなと思ひ、同じような対応ができるようになりたいと思っています。

後藤 リハビリの幅が広いと思いました。整形疾患がいたり、内科疾患とか脳卒中の方もいたり全部の患者さんがいるので、全部やっていると追いつかないですね。学校で基礎は教わっているんですが、内科疾患などは応用などが利かなくなりました。先輩のやり方を見たりして頑張りました。



4月から

東京医科歯科大学・茨城県・常陸大宮市で 寄付講座を設置

「茨城地域医療学講座」を開設

3月10日（火）、県庁庁議室において、東京医科歯科大学、茨城県、常陸大宮市による「茨城地域医療学講座」の寄付講座協定書締結式が行われました。

この講座は、令和2年度から3年間継続するもので、東京医科歯科大学が総合診療医の育成と、医師不足地域で役立つICT（情報通信技術）やAI（人工知能）を使った教育・診療体制の研究などを進めるものです。

令和2年度は東京医科歯科大学の医師3名が非常勤医師として診療を行いながら、地域ニーズを把握・分析し、医学生にとって魅力的な教育・研修プログラムを作成。令和3年度からは当院を使用して、医学生や研修医の教育を本格化させ、大学病院では経験できない地域医療の最前線で研修を積んでいくこととしています。

当院の常陸太田・ひたちなか医療圏は「医師偏在指標」が全国353医療圏のうち、317位と医師不足が深刻な地域であり、県では最優先に医師を確保する病院として、当院を指定し、主に救急医療を支える内科医の確保に取り組んでいました。

茨城地域医療学講座の開設を機に将来的には若手医師の確保や定着が期待されます。



あいさつ

大井川知事	県北山間部に位置する常陸大宮済生会病院は地域の中核病院としての役割が一層高まっている。
吉澤学長	総合診療は地域医療で重要な役割が期待されている。
三次市長	住民が安心して生活できる医療体制の確保に全力で取り組む。
小島院長	東京医科歯科大学とスクラムを組みながら、県北西部地域の医療の充実に努めていきたい。

総合診療医とは

1. 患者さんの近くに位置していること

患者さんに最も近い位置で診療している医師です。いわゆるプライマリ・ケア、一次医療を担当しています。

2. 患者さんのニーズに応えられること

年齢、性別、そして臓器にかかわらず目の前の患者さんをケアできます。さまざまな診療科にまたがる多くの知識や技能、そしてそれらを統合する卓越した問題解決能力を持っています。精神の不調にも対処できます。さらには健康だと思っている人々も、健康増進・予防活動によって、ケアの対象となると考えます。

3. いろいろな人とよい連携が取れること

自分の診療の範囲を超えた診断や治療を必要としている患者さんは、専門診療科にコンサルトします。在宅診療などでは、患者さんを中心としてケア・マネージャー、ホームヘルパー、訪問看護師、薬剤師、栄養士、言語・理学・作業療法士、介護関連施設の職員、その他、いろいろな職種の人々がかかわっています。これらの人々とも連携します。

4. 総合診療医の立ち位置

総合診療医は全く異なる原則を持ち、他の診療科医師とは異なるアイデンティティを備えています。プライマリ・ケアの現場で活動するので、患者さんの考えや期待など、患者さんの世界に接していることが多いといえます。患者さんと同じ基盤に立って患者さんを診ることができるのが総合診療医です。

（東京医科歯科大学総合診療科ホームページより）

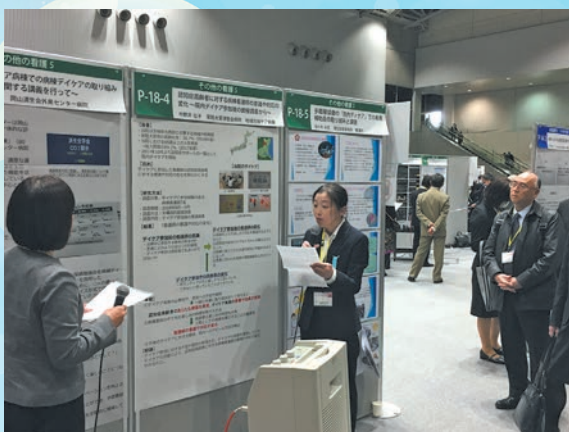
第72回済生会学会

「未来へ繋げ。済生会のこころ。」

令和元年度済生会総会

“新たな時代へ。未来へ繋げ、済生会のこころ。”をテーマに第72回済生会学会並びに令和元年度済生会総会が新潟市朱鷺メッセ「新潟コンベンションセンター」で開催されました。

今年の学会には、当院からもポスター発表及び口演発表に7名が登壇し、当院での取り組み事例を発表しました。



地域包括ケア病棟 市野沢 征子看護師



感染対策室 渡邊 明子認定看護師

【学会発表者】

- 新卒看護師が必要としている看護師長からの支援
看護部 鈴木 典子
- 小さな病院の大きな挑戦（経営改善 PT と診療報酬 WG）
企画課 掛札 拓也
- コスト削減の成果を活用して福利厚生と職員研修の充実を図る
管理課 岡山 修二
- 遠隔医療支援システム運用の取り組み
放射線技術科 西田 拓也
- 認知症高齢者に対する病棟看護師の意識や対応の変化
～院内デイケア参加後の面接調査から～
地域包括ケア病棟 市野沢 征子
- 入院時に持参する処方情報の媒体に関する調査
薬剤科 大曾根 鋭人
- 新型インフルエンザ等発生時における合同訓練及び診療継続計画の見直しを実施して
感染対策室 渡邊 明子

令和元年度総会では永年勤続表彰が行われ、当院でも次の方々が表彰されました。皆さんおめでとうございます。（敬称略）

20年以上 臨床検査科副科長 近岡 理文

10年以上 看護主任 新妻 智子／看護師 仲田 美穂／看護師 澤畑 多美子
看護師 宮崎 美由希／看護師 杉山 信子／看護師 川崎 幸子
放射線技術科主任 石井 満／放射線技術科員 西田 拓也
リハビリテーション科員 開江 俊也／管理課主任 古橋 誠
総務課員 綿引 里美

